

Mizuho Daily Market Report

2024/5/2

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	157.89	154.57	▲3.23	▲0.78
EUR	1.0661	1.0712	+0.0046	+0.0013
AUD	0.6476	0.6523	+0.0050	+0.0025
SGD	1.3652	1.3608	▲0.0047	▲0.0012
CNY	7.2411	7.2411	+0.0000	▲0.0049
MYR	4.7726	4.7725	+0.0000	▲0.0048
THB	37.15	37.06	+0.00	+0.04
IDR	16260	16260	+0	+106
PHP	57.83	57.77	+0.00	+0.22
INR	83.44	83.44	+0.00	+0.12
VND	25346	25334	▲1	▲81

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.628%	▲5.1 bp	▲1.3 bp
日本(10年)	0.891%	+1.2 bp	▲1.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.584%	+0.0 bp	▲0.4 bp
オーストラリア(5年)	4.179%	+8.2 bp	+8.6 bp
シンガポール(5年)	3.402%	+0.0 bp	+7.5 bp
中国(5年)	2.179%	+0.0 bp	+7.9 bp
マレーシア(5年)	3.785%	+0.0 bp	+2.6 bp
タイ(5年)	2.563%	+0.0 bp	+5.2 bp
インドネシア(5年)	7.159%	+0.0 bp	+11.9 bp
フィリピン(5年)	6.795%	+0.1 bp	+2.7 bp
インド(5年)	7.196%	+0.0 bp	+1.4 bp
ベトナム(5年)	2.230%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,903.29	+0.2%	▲1.4%
N225(日本)	38,274.05	▲0.3%	▲0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,921.22	+0.0%	▲1.4%
ASX(オーストラリア)	4,418.60	▲0.3%	+1.0%
FTSTI(シンガポール)	3,292.69	+0.0%	▲0.0%
SSEC(中国)	3,104.82	+0.0%	+2.0%
SENSEX(インド)	74,482.78	+0.0%	+0.9%
JKSE(インドネシア)	7,234.20	+0.0%	+0.8%
KLSE(マレーシア)	1,575.97	+0.0%	+0.3%
PSE(フィリピン)	6,700.49	+0.0%	+1.9%
SETI(タイ)	1,367.95	+0.0%	+0.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,209.52	+0.0%	+0.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	285.44	▲2.1%	▲3.9%
金	2,319.56	+1.5%	+0.1%
原油(WTI)	79.00	▲3.6%	▲4.6%
銅	9,782.43	▲1.1%	+1.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	158.40
EUR/USD	1.0540	—	1.0850
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3500	—	1.3680
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/MYR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	36.00	—	37.50
USD/IDR	16080	—	16300
USD/PHP	55.90	—	58.00
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円台後半でオープン。アジア時間午前はややドル買いが優勢な展開となるなか、ジリジリと上昇し158円へ迫る局面も見られた。その後は上値が重く157円台後半を中心に小幅な値動きとなり、海外時間に渡った。アジア通貨は多くの国で休場となったことに加え、米州時間にFOMCを控える中で全体的に小動きとなった。

海外市場のドル円は157円台後半で取引を開始。欧州時間はFOMCや米4月ISM指数の発表を控え動意薄く推移。米州時間午前は米経済指標の結果を受け米金利低下・ドル売りが優勢となり、157円台半ばまで下落。米州時間午後に発表された注目の米5月FOMCでは、政策金利を6会合連続で5.25%-5.50%に据え置いた一方、6月から米国債の縮小ペースを600億ドルから250億ドルに減らす等、バランスシートの縮小ペースを減速する事も発表された。続いて行われたパウエルFRB議長の記者会見では特段サプライズの発言は見当たらなかったものの、今後の追加利上げの可能性は低いとの考えを示す等ハト派寄りのコメントが目立ち、一時157円近辺まで下落するも、その後は再び157円台半ばまで戻す。終盤では、本邦当局による為替介入が行われたとの噂が立つ中、153円台前半まで急落する等激しい値動きが見られたが引けにかけては値を戻し154円台半ばでクロースした。

【金利】

米金利市場は、長期を中心に大幅低下。米州時間朝方に多数の主要指標発表があり、4月ADP雇用統計が予想を上回ったほか、4月ISM製造業景況指数の支払価格部門で60台を付けるなど、強いものが目立ったことで、発表後は売りが強まったが、FOMC政策金利および声明文発表を控え、まもなく小動きへ戻った。NY午後2時に発表となったFOMC政策金利は据え置きとなり、声明文では、米国債の保有証券減額ペースを減額するとした。パウエルFRB議長の会見では、インフレ率目標の2%達成について、よい方向へ移行しつつあるが、そのペースは減速。引き続き今後の経済指標を見極めていく。利上げの可能性は低いとした。

【予想】

ドル円市場は荒い値動きが継続しているが、上値は限定的か。ドル円が為替市場への介入への警戒感が高まっている中、円高方向へ値が飛びやすい状況が継続している状況。昨日も157円台後半では神経質な値動きが見られており、積極的に158円台を試す局面とはなりにくいものと予想。

【本日の予定】

- (日本) 3月 日銀 議事要旨
- (日本) 4月 マネーベース
- (日本) 4月 消費者態度指数
- (日本) 流動性供給入札
- (アジア) 4月 PM製造業 (インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム)
- (アジア) 3月 NZ 住宅建設許可
- (アジア) 3月 豪 貿易収支 / 民間部門住宅
- (アジア) 4月 インド PM製造業(確)
- (アジア) 4月 インドネシア CPI
- (アジア) 4月 シンガポール 購買部景気指数 / 電子産業指数
- (アジア) 4月 豪 PMサービス業(確)
- (アジア) 4月 韓国 CPI
- (アジア) 休場 中国
- (欧州) 3月 スイス 実質小売売上高
- (欧州) 4月 スイス CPI、製造業PMI / サービス業PMI
- (欧州) 4月 ユーロ圏 製造業PMI(確)
- (欧州) 4月 仏 製造業PMI(確)
- (欧州) 4月 独 製造業PMI(確)
- (米国) 1Q 非農業部門労働生産性(速) / 単位人件費(速)
- (米国) 3月 製造業受注 / 耐久財受注(確)
- (米国) 3月 貿易収支
- (米国) 4月 チャレンジャー人員削減数
- (米国) 新規失業保険申請件数